

9月4日
あきる野の
未来を拓く

古い政治に戻るのでも
ルール破りを許すのでもない
市民目線の新しい市政を

数野
はじめる

日本共産党西多摩・青梅地区委員長

日本共産党 公認

◆1947年青梅市生まれ。青梅第三中を卒業後、東芝府中工場入社。都立昭和高校(定時制)中退。◆党東京都委員会、中央委員会等を経て、西多摩青梅地区委員会にて労働組合理長、学習教育部長など歴任。2019年より地区委員長。2009年、都議選西多摩選挙区に立候補。家族は妻。現在は瑞穂町に在住。

Point 1 私の視点 まちづくり

お問い合わせ 532-5467

「市民の足を守る」ことは、健康寿命の上昇、地域経済の活性化のために必要です。私は、公共交通を充実させるため、実証実験が行われている「るのバス」増便を結実させ、様々な補助交通の実現とともに、るのバス3台体制に前進させます。

Point 2 私の視点 福祉の充実

困っている人に寄り添う医療・介護の充実と負担軽減はまったなし！都内で広がりはじめた補聴器の購入や調整を市が支援する制度をあきる野にも導入します。

Point 3 私の視点 未来を守る！

物価高騰から子どもたちを守ること、少子化の解決もまったなし！小中学校の給食を市が補助し、地産地消の推進と給食の充実、給食費の無償化をすすめます。

日本共産党あきる野市委員会が発表した見解を紹介します。

日本共産党あきる野市委員会発行
あきる野民報

8月号外

発行責任者／戸沢弘征／あきる野市瀬戸岡369-7

ウラ面もご覧ください

「戦争する国づくり」をとめ
憲法を活かす政治に

あきる野の
未来を拓く

数野はじめ

日本共産党
公認



のお約束

あきる野市民のみなさん、こんにちは。日本共産党の西多摩・青梅地区の責任者をしている数野はじめです。暮らしと平和、民主主義を守り、誰もが希望をもって生きられる社会をつくることに人生を捧げてきた者として、市政が難局に直面している今こそ、市民のみなさんのお役に立つべき時と決意しました。全身全霊でがんばります！

■ 市政のリーダーとしての基本姿勢

- ・広範な市民や党派の方々の声を丁寧に聞き、一致点を大切に市政に取り組みます。
- ・「市長退職金ゼロ」など、実現・前進してきたことは守り、後戻りはさせません。
- ・あきる野らしいまちづくりと、住民の福祉の増進を基本とするため、開発型の市政には戻しません。

■ 公共交通の充実をさらに前に進めます

- ・実証実験中の「るのバス増車」を本格導入し、土日運行や3台への増車を進めます。
- ・補助交通など、すでに実証実験が終了した地域や実験中の「デマンド交通チョイソコ」の本格実施と、未実施地域での取り組みを進めます。

■ すべてのこどもがのびのび育ち、個性を伸ばせるよう、支援をします

- ・学校給食の材料費を市が補助し、給食の内容充実と給食費の無償化をすすめます。
- ・所得制限なし・窓口負担なしの18歳以下の医療費無料化の実現へ、都と協議を進めます。
- ・フードバンクを作り、困難を抱える家庭に食糧支援を行います。
- ・学童クラブの充実と指導員の待遇を改善します。



■ 消費税インボイス制度導入反対！

■ 物価高騰から暮らしや営業を守ります

- ・下水道料金を値下げします。
- ・事業者への燃料費補助制度をつくります。
- ・福祉施設や子ども食堂を対象に「物価高騰対策補助制度」をつくります。



■ 後期高齢者医療の窓口2割負担反対！

■ 介護の充実、負担軽減の福祉施策

- ・必要な介護が受けられるようにするため、公的支出の割合を増加させることを国に求め、保険料・利用料の負担軽減と特養ホームなど高齢者福祉施設の増設、介護環境の充実を推進します。
- ・介護人材確保に向け、住宅費補助制度や奨学金制度をつくります。
- ・加齢性難聴や18歳以上の中等度難聴者のための補聴器購入助成・調整支援制度をつくります。
- ・国民健康保険税の値上げをストップし、こどもの均等割を第一子から半額にします。



■ 新型コロナから市民を守ります

- ・学校・幼稚園を含む教育施設・社会福祉施設で検査キットを活用するほか、検査を希望する市民がいつでも検査を受けられる体制をつくります。
- ・発熱時などの相談窓口を市独自につくります。
- ・保健所をあきる野に復活させます。

■ ジェンダー平等の市をめざします

- ・福祉、子育て、防災など市の施策の策定に、女性が参加する割合を抜本的に増やします。
- ・パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度をつくります。
- ・中学校の制服の見直し、LGBTQ理解の促進などジェンダー平等の教育環境を作ります。
- ・生理用品の学校トイレへの設置などから「生理の貧困」問題克服を進めます。



■ 災害対策・環境問題

- ・河川の浚渫、氾濫監視カメラの活用などで、災害を防ぎます。
- ・避難所の環境改善と早期避難の体制をつくります。
- ・檜原村の産業廃棄物処理施設は、秋川流域の問題です。市民の安心を最優先に対応します。

■ みんなで守る平和なあきる野

- ・市民参加による非核平和都市宣言を行います。
- ・米軍機の横暴な飛行訓練に断固反対します。